



同志社生協良心館 ブック&ショップ

法律書 Ranking

2014.4.1~4.30



『平成 25 年度
重要判例解説』
(有斐閣 本体¥2870)



『労働法の争点』
土田道夫 = 山川隆一編
(有斐閣 本体¥2600)



『ケースブック行政法〔第5版〕』
稲葉 馨ほか編
(弘文堂 本体¥3400)

注目の新刊書籍、
改訂版が
ぞくぞく刊行！

- 4位 『基礎演習 行政法』
土田伸也 (日本評論社 本体¥2200)
- 5位 『事例から民法を考える』
佐久間 毅ほか (有斐閣 本体¥3000)
- 6位 『事例から刑法を考える〔第3版〕』
島田聡一郎 = 小林憲太郎 (有斐閣 本体¥3200)
- 7位 『医事判例百選』
甲斐克則 = 手嶋 豊編 (有斐閣 本体¥2400)
- 8位 『事例で学ぶ民法演習』
松久三四彦ほか (成文堂 本体¥2800)
- 9位 『新基本法コンメンタール民事保全法』
山本和彦ほか編 (日本評論社 本体¥3800)
- 10位 『行政法総論を学ぶ』
曾和俊文 (有斐閣 本体¥3500)

有馬久恵

書籍フロアマネージャー

清水敦子

法経書担当

・今月のランキング

3月頃から注目の新刊の刊行、注目の改訂が続いたため、春休みを経てキャンパスに戻ってきた多くの学生さんに、例年以上に法律書をご購入いただきました。第1位の『平成 25 年度重要判例解説』は定番の1冊。ロースクール生が友達同士で話しながらご購入されていく様子を見ると、「今年もこの季節か…」と感じます。

・ランキング外の注目書籍

現在動きがととてもよく、今後も自店舗でもっともっと売っていききたい、読んでいただきたい2冊を紹介します。①『未完の憲法』(潮出版社)：奥平先生、木村先生の名著ということで刊行時から非常に動きが良く、店内で学生さんがよく手に取られている姿を目にします。②『数理法務概論』(有斐閣)：在学中より法学と併せて必要となってくる基礎知識を得るため、統計学や経営

学などの入門書を併せて読まれる方が増えていたこともあり、動きに注目しています。

・店員から

2012年11月に新店としてオープン以降、専門書を中心に多くの方にご利用いただいております。店舗面積が広がり、蔵書数も大幅に増え、念願のフェアコーナーも拡充できました。“いつご来店いただいても新しい話題をご提供できる店舗”を目指し、日々励んでおります。ご利用いただくみなさまからの声が、私たち職員の、そして店舗の力になります。「こんな本をおいてほしい」「この本の改訂予定は？」など、ご来店の際にはお気軽にお声かけください。



次号の Bookstore's Voice は
北海道大学生協書籍部クラーク店